

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 1 月 31 日（金）	時 間	19：00 から 20：59 まで
場 所	本城小学校 理科室		
出席者	保護者 23 名、教職員 21 名、地域住民 8 名 計 52 名		
事 務 局	教育委員（教育長を含む。）4 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	上千野地区も通学バスの対象になるのか。	上千野地区と下千野地区は 6 キロメートルないが、本城地区の生徒が通学するとなると国道 448 号を通らなくてはならない。また蔵元橋には歩道がない。計画の素案にあるように通学バスの対象者は、生徒の安全や地域の実態等を十分に判断していきながら決めていきたい。	
2	通学バスは何年からということが明記されていないが。行政のさらなる統合があった場合、この案がそのまま継続するのか。	子どもたちがいる限り通学バスを導入する。行政の統合があったとしても継続していく考えである。	
3	本城、都井、市木を 1 校、北方、大東、福島を 1 校とする 2 校案は考えられないか。	教育委員会では、平成 25 年 3 月の串間市中学校再編基本計画の中で、同学年の生徒集団を 1 学年 2 学級以上の学校規模を目指すということで、これまで協議してきた。福島中学校と福島中学校を除く 5 つの中学校が統合して初めて 1 学年 2 学級ができることになる。5 つの中学校を統合した場合、施設、立地場所に課題があったため、2 校案は厳しいということで教育委員会において 1 校案でいくという協議がなされた。	
4	小中一貫校の話はなかったのか。	小中一貫校も検討したうえで、中学校を統合していく方が子どもにとってメリットがあるという判断をした。	
5	ある程度市民に対する説明が必要ではないか。市内の小学校を卒業して市内の中学校にどのくらい入学するのか、市内の中学校から福島高等学校に	議会や住民の方々に説明会の機会を設けた。計画に対する意見は今後とも反映していきたい。今後も教育委員会にお問い合わせやご意見をお寄せいただきたい。	

	どのくらい入学するのか。串間市として、いかに子どもを増やす策があるのか。	串間市は平成 20 年から小中高一貫教育に取り組んでいる。その効果もあり、市内の中学校から約半数を上回る進学となっている。中学の生徒数も減っていくことから入学する子どもも減っていくと思うが、高校側と連絡しながら取り組んでいきたい。
6	現在の小学 5 年生と 4 年生が対象となる。制服や体操服、その他学用品の取り扱いについて、過重とならないように検討するとあるが、負担があつてはいけないと思うが。	それぞれの中学校の制服で集まるのか、前倒しして新しい制服で新しい中学校に通うのか、そのことについては、十分、保護者が二重の負担とならないよう、学校や保護者の意見に配慮して決定していきたい。
7	本城は小中学校合同で地域活動や運動活動をしている。再編後に残された小学校はどういうふうにして形を作っていくか、地域活性化をどのようにしていくか、例えば、運動会を小学校と保育園、地域とできるような関係を作っていただけるのか、しっかり提示してほしい。	例えば、小学校の運動会に中学生が参加して盛り上げている。一つの例として挙げたが、できるだけ本城地域の運動会が盛り上がっていけるような方法を地域住民も含めて協議していきたい。
8	保護者にとって生徒が登下校する際の心配や、生徒数が多くなり新しい学校になじめるのかが問題である。全国でも悲惨なことが起こっているが、そういうことも考えられる。	平成 26 年度から平成 28 年度までの期間で、交流活動など実施できるものについては出来るだけ早いうちから試行的に取り組んでいき、混乱が起きないように方法をとってスムーズに移行したい。
9	日南学園中学のような私学に入学するような生徒が多くなるのではないかと思う。本城、都井、市木地区は 80 名近くの人員が確保できると思うので、できるなら 2 段階でお願いしたい。	私立の中学校などに入学すれば、市内の中学校に入学する生徒は減ってくる。それぞれ保護者や子どもの考えで行けるが、地元の中学校に行ってほしい思いはある。
10	他のところで出た意見を教えてほしい。	都井小学校では、スクールバスに乗り遅れた場合によかバスの利用はできるのか、ある地区では学校再編に反対であると聞くがどのような意見があるのか、遠いところから通う生徒は部活動後バスに乗って帰宅すると勉強する時間が無くなるのでは、再編校近くに住む人が多くなり市中心部以外の過疎化が進むのではなどの意見があった。

		北方小学校では、学校再編で校則はどうなるのか、部活動の県大会への出場が制限されるのでは、北方中学校の給食は給食センターから配送されているがどうなるのかななどの意見があった。
11	各地区で反対の意見もあるが、今の教育委員会の案で進んでいくのか。決まったような感がある。	教育委員会の素案として説明してきている。これを市長部局に協議している段階であり、また議員1人ひとりに十分理解していただくように説明していかなければならない。この説明会だけで終わりなのかという質問を受けたが、意見を集約して反映できるものは修正していき、説明の機会を設けられたらと考える。

No.	意見等
1	子どもを持つ保護者として、子どもがどういう環境で学んでいくのか、どういうふうになるかということが一番心配であるので、こういう機会を通じて意見を確実に取り入れた中で、子ども第一に物事を進めていただきたい。
2	P T Aだけではなく、本城地域の振興のために、全市民が関心を持つべきことであるので、本城支所で行ってほしい。